

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立丹原高等学校  
学校番号 ( 13 )

評価実施日		令和7年2月26日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	玉井 治樹	学校評議員、元県立学校長	
	山内 政志	学校評議員、PENTA FARM代表取締役 はつきり農園代表	
	渡部 泰成	学校評議員、西条市役所(危機管理課副部長)	
	鎌田 竹広	学校評議員、鎌田農園代表	
	野島 貴子	学校評議員、愛媛県移住相談員	
	越智 秀樹	保護者代表、PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 教科指導について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>生徒の主体的な学習が見られ、成果が出ている。また、生徒の「やってみたい」を実現する教育活動が実践されている。</li><li>総合的な探究の時間、授業において探究型学習が取り入れられている。教科横断的学習が実施され、教育活動全般において成果が出ている。</li><li>生徒の「やってみたい」を実現するプラットフォームが作られており、生徒の自信につながっている。</li><li>教育活動が評価され、入試の志願者が昨年に比べて増加した。丹高の魅力が中学校や地域に伝わり、評価も高い。</li><li>高校卒業後、進学しても困らないように高い学力を身に付けさせる必要がある。</li></ul> <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>個別指導の充実と進路実現では評価が高い。進路決定率は100%である。国立大学進学者数は昨年を上回り、大きな成果が出ている。一方で、先生方の負担が心配される。</li><li>キャリア教育の評価が低い。生徒と保護者に進路情報の提供を図り、インターンシップや進路ガイダンスの企画、企業見学やオープンキャンパスへの積極的参加を勧めてほしい。</li></ul> <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>校則については、ルールメイキングプロジェクトの一環として、生徒が主体的に学校側と対話をしている。校則検討委員会を開催し、生徒の意見を取り入れている。</li><li>気持ちのよい挨拶ができています。</li><li>皆勤率が下がっている。休まないことは、社会に出て求められることである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>総合的な探究の時間(t-time)、生徒会主体の学校行事運営、ルールメイキングプロジェクトなどの様々な教育活動で探究型学習を取り入れ、人前で発表する機会が増えることで、自己探究力や問題解決能力を備えた生徒の育成につながっている。今後も、継続して探究型学習を実践する。</li><li>ICTを活用した授業を推進し、授業改善を行う。生徒一人一人に応じた分かりやすく工夫した授業を実践し、学力と社会人基礎力の向上につなげる。</li><li>教職員の研修を推奨し、指導力と授業力の向上につなげる。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>キャリアパスポートノートの活用を見直す。担任や教科担当と連携し、キャリアパスポートノートを活用した振り返りを充実させ、キャリア教育につなげる。</li><li>教職員が生徒一人一人の進路目標を大切にし、3年間を見据えた手厚い指導を行っている。教職員の負担軽減についても、働き方改革の観点から改善を図る。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>ルールメイキングプロジェクトを支援し、生徒が主体的に学校生活における課題解決に取り組むことができる体制を作る。「生徒自治」を目標に、時代に合った校則となるよう、更に生徒の意見を聞きながら対応する。</li><li>小・中学校からの不登校生徒が入学しているのが現状である。問題を抱える生徒の情報共有を深め、登校しやすい学校作りを目指す。</li></ul>

<p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した行事やボランティア活動に生徒が主体的に参加している。地域の行事では、丹高生が参加してくれないとできなくなる行事があり、地域活性化に貢献している。</li> <li>・部活動等で成果が上がっている。生徒、保護者、地域も関心が高いため、生徒募集につながる。</li> </ul> <p>(5) 相談・人権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の問題の早期発見、対応ができています。教職員間で情報共有をし、学校全体での指導が大切である。</li> </ul> <p>(6) 学校安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の充実では、学校防災教育実践モデル指定校として、予告なし避難訓練、丹高防災DAY、学校へ泊まろうプロジェクトなど、小・中学校とも連携して、体験的な新しい取組をしている。</li> <li>・地域住民から参加をしたいという意見がある。来年度も活動の継続と地域と連携した活動にしてほしい。</li> </ul> <p>(7) 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7年間継続したGLOBAL G. A. P. 認証取得と県GAP認証取得などGAP学習を推進している。</li> <li>・今年度も台湾研修とブドウの輸出が実現し、グローバルな活動が学校の魅力化につながっている。</li> <li>・積極的にイベントへの参加や講習会の実施をしており、地域交流が深められ地域の活性化に貢献している。</li> </ul> <p>(8) 業務改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導、部活動で成果が出ており、生徒の主体的な活動を推進する一方で、教職員の働き方のバランスが崩れ、疲弊が心配である。超過勤務時間が多く、働き方改革が必要である。</li> <li>・ホームページが充実しており、教育活動や生徒の状況が発信され、開かれた学校作りにつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも探究型学習に取り組み、地域行事への積極的な参加により地域活性化への貢献を推進する。さらに、地域に根差した学校作りにつなげる。</li> <li>・生徒会やルールメイカーを中心とした生徒の主体性を生かした学校行事を企画・運営する。</li> <li>・県総体や高文祭への出場者数は目標値を超えている。今後とも、体育部、文化部、農業クラブなど各方面で多様な活躍が見られるよう活性化を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接週間、アンケートなど生徒の問題や状況を把握するため、今後とも定期的実施する。また、教職員間で情報共有ができる組織と環境作りをし、更に連携を深める。</li> <li>・保護者への啓発をし、生徒、保護者に寄り添った指導と連携を深める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定校としての委託は終了したが、継続してモデル地域内の学校、地域、自治体、関連機関と連携をし、情報共有と実践的な防災教育を推進する。</li> <li>・「丹高防災DAY」を継続し、体験的な取組を通して防災意識の向上につなげる。</li> <li>・学校安全計画、危機管理マニュアルは毎年見直し、実効性の高い内容に更新する。また、生徒や教職員に周知し、いざというときに行動ができるよう実効性を高める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GLOBAL G. A. P. 認証取得と台湾研修、ブドウの輸出は、学校の魅力ある取組であるため、継続して取り組む。</li> <li>・今後とも地域と連携した農業教育を推進し、更に普通科と協働をすることで学校の魅力ある活動や活性化につなげる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革について教職員の提言を募り、実行に移す。業務の精選及び平準化を図るとともに、時間外勤務が多い教職員と面談をし、教職員の意識改革と具体的な対応策を打ち出す。</li> <li>・今後とも全教職員の協力で更新頻度を高め、学校ホームページの充実に取り組み、学校の魅力発信に努めたい。また、SNSなど他のツールも活用する必要がある。</li> </ul>
---	--

<p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携し、地域課題を発見、共有、協働して解決できる教育活動を進めてほしい。生徒主体の学習につながる探究型学習を更に推進してほしい。</li> <li>・社会人基礎力や生きる力を育成してほしい。</li> <li>・生徒や保護者が「丹原高校に入学してよかった」と感じる教育活動を推進してほしい。</li> <li>・生徒の取組を中学生、保護者、地域に積極的に情報発信し、学校の魅力化を推進してほしい。さらに、新校の活動につなげてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間（t-time）の発表会では、地域の課題に着目し、地域と協働した課題解決への取組から、課題解決能力、社会人基礎力、生きる力の育成が感じられた。今後とも生徒主体の探究型学習など、これまでの学びを深め、進路目標の実現につなげていく。</li> <li>・中学生や地域に情報発信をし、学校の教育活動や生徒の活動成果を広める。</li> <li>・新校における教育内容に、丹原高校の学びを継承し、地域の教育環境の充実を図る。</li> </ul>
--	--